

ひとりで
悩まないで...
気軽に
ご相談を...



とらいあんぐるん相談室

電話 **027-224-5210**

平成 25 年 8 月 6 日
土・日曜日の
相談を始めました

●相談日と時間

	火	水	木	金	土	日
9:00 ~ 12:00	○	○	○	○	○	○
13:00 ~ 16:00	○	○	○	○	-	-

・年末年始、祝日は休み ・月曜日が祝日（振替休日含む）の場合、火曜日も休み

●相談内容

家庭の問題の他、女性の自立や能力の発揮、性差に関する悩みなど...

女性専用電話相談です。
相談は無料で
秘密は厳守します。

●ぐんま男女共同参画センター これからの事業ごあんない

事業名	内容	開催時期	定員	会場
実践講座 ～思いをカタチに	事業プランを通じて、地域における男女共同参画実践活動のポイントを学びます。(全6回)	10月～3月	20人	ぐんま男女共同参画センター
地域における男女共同参画促進セミナー	講義と県内団体による事例発表を通じて、男女共同参画による地域づくりを考えます。	11月12日(火)	60人	ぐんま男女共同参画センター
基礎講座～世界・日本・私たちの暮らし	男女共同参画の基本的な視点・知識・情報等をやさしく学びます。(全6回)	11月～12月	60人	ぐんま男女共同参画センター
杉尾秀哉氏講演会	TBS「みのもんた朝ズバ」コメンテーター他で活躍中の杉尾秀哉さんの講演会	11月24日(日)	200人	みなかみ町カルチャーセンター(みなかみ町上牧)
父親の子育て応援講座～イクメン養成塾	お子さんに人気の「バルーンアート」を学びます。お子さんも一緒にどうぞ。	1月19日(日)	3歳～未就学児のお子さんといっしょに20組	ぐんま男女共同参画センター

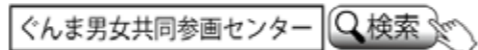
◎参加には事前申込みが必要です。各事業の募集時期や申込み方法など、詳細についてはぐんま男女共同参画センターへお問い合わせください。

センターのご案内



- 大研修室《半日：3,500円》
- 小研修室《半日：800円》
- 中研修室《半日：1,600円》
- 交流コーナー

●研修室の貸出しを行っています。詳しくはホームページをご覧ください。



〒371-0026
群馬県前橋市大手町1-13-12
電話 **027-224-2211** FAX **027-224-2214**
メール sankakuse@pref.gunma.lg.jp
<http://www.pref.gunma.jp/07/p03100039.html>

ぐんま男女共同参画センター センター通信 No.26
【発行】群馬県ぐんま男女共同参画センター
【発行日】平成 25 年 8 月 6 日

とらいあんぐるん

ぐんま男女共同参画センター通信

2013年8月 No.26



ぐんま男女共同参画センター
〒371-0026 群馬県前橋市大手町1-13-12
TEL: 027-224-2211
FAX: 027-224-2214
メール: sankakuse@pref.gunma.lg.jp



とらいあんぐるん相談室 土日相談 始めました!
相談専用電話 **027-224-5210**

どんなことでもご相談ください。専門の相談員がお話を伺います。(相談時間は裏面をごらんください。)



男女共同参画フェスティバル 報告

『輝こう 群馬の女と男』
～ささえあおう♡みんなで!～開催!

「男女共同参画週間(6月23日から29日の1週間)」前日の6月22日(土)当センターにて、群馬県女性団体連絡協議会主催、群馬県人権啓発活動ネットワーク協議会・群馬県共催で「男女共同参画フェスティバル」が盛大に開催されました。台風の影響が心配されましたが梅雨の合間の晴れ間となり多くの来場者(延べ約350人)で賑わいました。



午前 バルーンアート、クイズスタンプラリー、クッキーアート、折り紙など来場者が楽しみながら参加できるコーナーが各会場に設けられ、自身の手作り作品やクイズ景品のお土産ができました。バザー会場では、花、野菜、お菓子、手作り品が販売され、開始直後から熱気に溢れていました。パネル展示は所属団体活動紹介や男女共同参画関連展示が一面に並び、健康相談コーナーは専門家への相談や健康チェックなど盛りだくさんでした。お茶席やカフェもあり、お菓子をいただきながら寛ぐこともでき好評でした。

←野上女性団体連絡協議会会長

午後 ワークショップ『シニア(女・男)の健康と安全～事故の予防と応急手当』日本赤十字社群馬県支部健康生活支援講習講師の伊藤恵子さんと同支部幼児安全法指導員の加藤潤子さんに、介護はとて女性、男性両方に必要なことであると、特にシニアの家庭での健康と安全について実践を交えながらご指導いただきました。

高齢者は加齢により体の機能が低下し事故を起こしやすくなり、その事故の多くが家で発生し寝たきりの原因にもなることから、転倒、やけど、誤嚥など事故の種類毎に予防の大切さや手当方法、また、心臓病、脳卒中の際の症状や対処法などを詳しく話されました。後半は、会場で実際に車椅子を動かしながら



安全な使い方を実践し、その後、会場にいる全員が、腕骨折や頭の怪我の際の、大判ハンカチやストッキングを使った応急手当法を2人1組で交替しながら体験しました。身近な道具を使った役に立つ応急手当法を学ぶことができました。



←健康相談コーナー ↑シニア応急手当講演会

—新企画— インタビューコーナー

第1回 特定非営利活動法人 Design Net-works Association (DNA)
代表理事 沼田翔二郎さん 副代表理事 広瀬汐美さんに聞く

群馬県では、男女が性別にかかわらず一人ひとりの考え方や生き方が尊重される社会やあらゆる分野への参画の機会が保障され、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目指し、様々な取り組みを行っています。

そこで今号から、「男女共同参画社会の実現を目指し、さまざまな立場で活躍している人」をシリーズで紹介していきます。



— NPO 法人 DNA について

【沼田さん】DNAは、個人化が進む社会にどうにか立ち向かいたい、社会にいる人々を巻き込む仕組みを作りたいと、約10年前に設立されたNPO法人です。高崎経済大学の学生を中心とする約80人のメンバーで構成されています。私は大学2年生からDNAに参画しています。実は、1年生の時は引きこもり状態だったのですが、そんな状況をどうにかしたいと、大宮登教授（DNA代表顧問）に話しに行ったのが参画のきっかけになりました。他のメンバーを見ていると、「自分を变えたい」と2年生から飛び込んでくるケースも多いように感じています。

【広瀬さん】私のDNAとの最初の出会いは大学1年生の秋頃でした。DNA主催のイベントポスターを見て、学生がこんなことができるのかと衝撃的だった記憶があります。私は県外出身なのですが、新しい土地で自分で何でもできるようになりたい、



社会活動をしたと考えていた矢先、大宮登教授の授業を受講したのをきっかけに2年生からDNAに入りました。

【沼田さん】DNAでは、「個人の生き方（キャリア）」と「地域のあり方（コミュニティ）」は密接に関係していると考えています。若者はこれから地域の中で生きていかなければなりませんし、地域には若者の力が必要です。そこで今年度は、若者への



↑代表理事の沼田さん

情報発信等を行う『若者支援事業』と、地域に私たち自身が関わる機会をつくる『地域づくり事業』を柱に事業を展開しています。

— 将来の生き方・働き方について

【広瀬さん】私は現在大学4年生で、来春からハンディキャップを負った方への就労支援を行う都内の会社で働く予定です。両親が働く姿を見て育ったこともあり、小さい頃から女性が働くことに良いイメージを持っていました。DNAで就職支援の活動に携わる中で、雇用や早期離職等若者が仕事で悩んでいる現状を知り、そんな折、この会社の存在を知りました。障害者が社会で生きていくためには教育のほかに周りの人の理解も必要で、会社では地域づくりに関わる予定です。大学で専攻した「地域づくり」と「キャリアデザイン」が活かされますし、DNAの考え方にも通じていると思っています。

【沼田さん】私は今大学院生ですが、卒業後はDNAの中で起業しビジネスモデルを確立していきたいと考えています。DNAがこれまで10年間で培ってきたことを

ベースに、DNAを作り変えていきたいのです。私自身は今現在DNAに関しては長時間労働といった状況ですが、会社として成立させる時には長時間労働を減らし、ワーク・ライフ・バランスを充実させた会社にするのが目標です。個人の生き方を充実させ、それを地域の価値観として浸透させることができれば、私たちが目指す「キャリア」と「コミュニティ」に繋がると思うのです。

— 若者世代が生きやすい世の中とは？

【沼田さん】若者のキャリアが地域のコミュニティの中で育つことのできる世の中だと思います。言い換えると、若者の雇用が地域の中に作られ、地域のコミュニティが若者の力によって形づくられる。そのどちらもあることが生きやすい世の中には必要であると思っています。

【広瀬さん】自分が女性ということもあり、もともと女性と働き方について興味を持っていました。大学で留学生の方と接することも多く、外国人や障害者の働き方についても関心を持っています。就職予定の会社はダイバーシティ社会（*）を作ることを目的にしている会社で、その切り口として障害者雇用があるわけですが、そういう多様性を認められる世の中が生きやすいのかなと思います。

*ダイバーシティ社会=多様性のある社会。人種・国籍・性・年齢を問わずに人材を活用する社会。



↑副代表理事の広瀬さん

NPO 法人 DNA(ディーエヌエー) の紹介

- ★ DNA 地域づくり事業
 - ・地域行事やイベントなど、当日ボランティアにとどまらない企画からの参加
 - ・高崎散策や冊子作りなど、自主企画
 - ・ラジオ高崎での月2回の放送 ほか

- ★ DNA 若者支援事業
 - ・企業と若者の交流会
 - ・企業取材&学生によるプレゼン発表 ほか



協働事業報告 1

子育てを一緒に楽しもう！

●平成25年4月21日(日) 手形づくり教室を開催！



家族みんなで子育てを楽しんでもらおうと、玉村町・和い輪いネットワークと共催で、「手形づくり教室」を開催しました。毎年希望者が多い人気の講座です。

生後6ヶ月以上3歳未満のお子さんとその家族20組58名が参加し、成長の記録にと紙粘土でお子さんの手形を作りました。

会場の床に敷いたブルーシートの上で、お子さんを抱っこして小さい手や足をペタリと粘土台に押しつけて形を付けたり、手形の周りに飾りを付

けたりと、家族みんなが思い思いに手形づくりを楽しむ様子が見られました。

ハートや動物の顔など好みの形の白い紙粘土台、かわいい手や足の型、赤や青、黄などの色粘土を使った星や花、名前等の飾りつけ、それぞれの家族が工夫を凝らして完成した手形を大事そうに持ち帰りました。

(会場：ぐんま男女共同参画センター)



協働事業報告 2

『リンパマッサージでむくみスッキリ！！』

●平成25年6月16日(日) アロマの香り&リンパマッサージを学ぶセミナーを開催



↑小野里講師

家事、育児、仕事などに忙しい女性たちにリラックス・リフレッシュしてもらおうと、県母子寡婦福祉協議会などと共催で「アロマとリンパマッサージを学ぶセミナー」を開催しました。

参加者33人は、講師のアロマセラピストでエステティシヤンの小野里操さんから、アロマの効用や、アロマポットを使ったオイルの楽しみ方、リンパマッサージなどを学びました。

アシスタントが、参加者ひとりひとりの腕にむくみをとるリンパマッサージを施すと、その効果を実感した受講者からは驚きの声があがりました。受講者からは「忙しい生活の中でアロマの香りに癒されました」「体の老廃物の流れ方がよく分かった」「マッサージを家でゆっくり試したい」などといった声が聞かれました。

(会場：群馬県社会福祉総合センター)



●センター運営会議を開催しました●

7月12日(金)、平成25年度1回目となる「ぐんま男女共同参画センター運営会議」を当センターで開催しました。

この運営会議はセンターオープンとほぼ同時に発足したもので、センターの円滑な運営と事業の充実のために、学識経験者、関係団体代表者、関係行政機関職員の計13人の委員から、意見や提案をいただいています。(今回の任期は25～26年度の2年間)

新委員となり初めての顔合わせとなった今回は、自己紹介の後、委員の互選により、会長が中村京子さん、副会長が関マツさんに決まりました。その後、センター概要や平成25年度に実施が予定されている事業等について説明が行われた後、「男性の育児参画」や「女性の活躍支援」など今後のセンター事業の展開について、テーマ設定の方法や実施方法など幅広い視点からの話題提供があり、活発な意見交換が行われました。



図・書・紹・介

●当センター「図書コーナー」にある本を紹介しています。
【貸出しのお約束】・一人5冊まで ・期限：2週間 ・利用時間：9時～17時



『シクスティーズの日々』
久田 恵/朝日文庫
525円(税込)

◆さまざまな課題に向き合う60代男女に取材し本音を綴ったルポルタージュ。朝日新聞に連載され大きな反響と共感を呼んだコラムの文庫版。



『俺の宇宙はまだ遠い』
益田 ミリ/講談社
1,260円(税込)

◆32歳、彼女いない歴6年の書店員、土田君。俺の人生、こんなもんなかな、自問自答しながら過ごす日常をほのぼの描いたコミック。



『地雷ではなく花をください』
柳瀬房子/自由国民社
1,529円(税込)

◆平和な世界をみんなで目指そうと、うさぎのサニーが「地雷」について教えてくれます。地雷撤去キャンペーン絵本。